



市立三次中央病院 緩和ケアセンター主催
緩和ケア月例公開研修会⑦《通算第43回》

- 日時：令和元年9月28日（土）
9:00～10:30 講義・Q&A
- 会場：市立三次中央病院
健診センター2階 講堂
- 演題

がん疼痛緩和の基本技術 －鎮痛薬の副作用に対する配慮と対処－

和歌山県立医科大学附属病院腫瘍センター緩和ケアセンター
副センター長／准教授
月山 淑

地域がん診療連携拠点病院として当院が主催する「がん診療に携わる医師等のための緩和ケア研修会」を開催するにあたり、例年通り疼痛緩和に関する初級者向けの講義を備北医療圏の医療関係者に広く公開いたします。今年度は、緩和ケアにおける麻酔学領域では知らぬ者のない高名な実力派である月山 淑先生をお招きします。今さら人に聞けない疼痛緩和の基本をあらためて確認していただき、最新の技術をも知ることのできる絶好の機会です。どうぞ奮ってご参集ください。

(1日研修の一部を特別に公開するものですので、開始時刻は午前9時になっております。ご注意願います。)



<講師略歴>

月山 淑（つきやま よし）：
1985年近畿大学医学部卒業、同年6月同附属病院麻酔科にて臨床研修。
1987年6月和歌山県立医科大学研究生、同麻酔学教室助手、和歌山労災病院麻酔科などを経て、1999年4月和歌山県立医科大学総合移転に伴い新設された同附属病院集学的治療・緩和ケア部助手、緩和ケア病棟専従医として勤務。2015年4月から現職。日本緩和医療学会代議員、日本麻酔科学会専門医、日本ペインクリニック学会認定医。